



平成 29 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 岡藤ホールディングス株式会社
代 表 者 名 取締役社長 小 崎 隆 司
(コード番号：8705)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 増 田 潤 治
電 話 03-5543-8705

平成 30 年 3 月期第 1 四半期の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 30 年 3 月期第 1 四半期累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）の連結業績につきましては現在集計中ではありますが、決算の概要がまとまりましたので、業績見込みをお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 1 四半期累計期間の連結業績見込みおよび業績との差異

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
前年同期実績 (平成 29 年 3 月期第 1 四半期累計期間) (A)	883	△41	△31	△44
当期実績見込み (平成 30 年 3 月期第 1 四半期累計期間) (B)	803	△12	13	55
増 減 額 (B - A)	△80	29	44	99
増 減 率 (%)	△9.0	—	—	—
(ご参考) 平成 29 年 3 月期実績	2,840	△698	△678	△858

(注) 前連結会計年度より、表示方法の変更を行っております。前年同期実績につきましては、当該表示方法の変更を反映した組替後の数値を記載しております。

2. 差異が生じた理由

当第 1 四半期連結累計期間における商品市況は、貴金属は中東での地政学リスクの高まりから、金を中心に底堅く推移したものの、円高の進展もあり値動きが抑えられました。原油は世界的に協調減産の動きが見られましたが、米国やロシアの増産から下落基調となり、穀物は南米の生産と輸出能力の拡大から停滞が続きました。これらの背景から、全国市場売買高は11,571千枚（前年同期比81.5%）となりました。

このような状況のなか、当社グループの中核事業である商品取引関連事業における受取手数料につきましては、406 百万円（前年同期比 51.4%）となりました。また、売買損益につきましては、ゴム市場におけるディーリングが好調に推移し、55 百万円の利益（前年同期比 760.1%）となりました。このほか、外債販売が増加したこともあり、有価証券関連事業における売買損益で 264 百万円の利益（前年同期比 883.5%）を計上しております。

この結果、営業収益は 803 百万円（前年同期比 91.0%）となる見込みであります。また、営業費用につきましては、816 百万円（前年同期比 88.3%）となる見込みであります。これらにより、営業損失は 12 百万円となり、経常利益は 13 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 55 百万円をそれぞれ計上する見込みであります。

以 上